



IPv4枯渇問題とその対応

移行WG主査

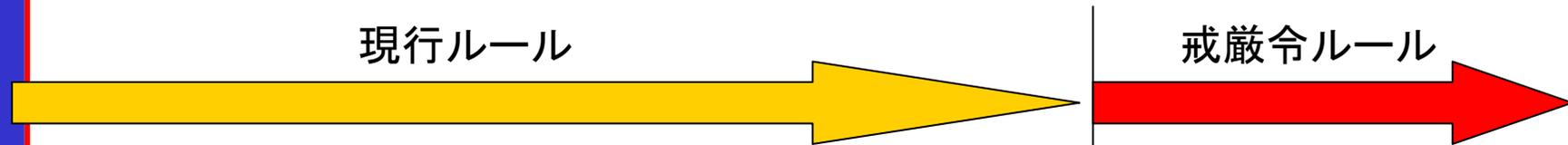
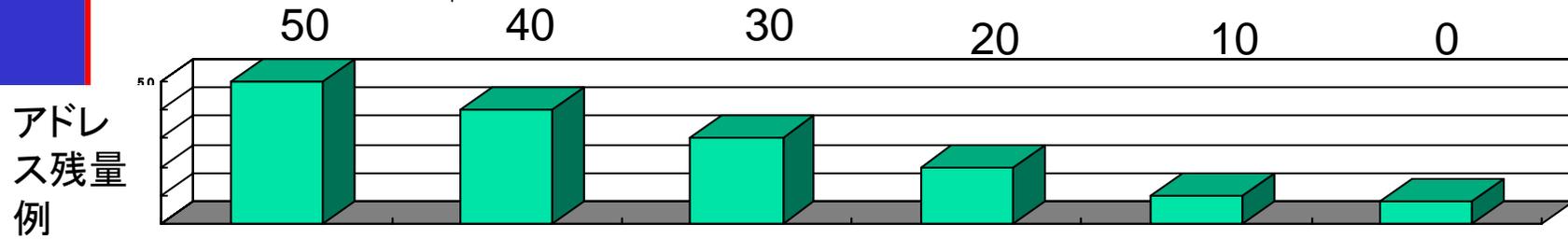
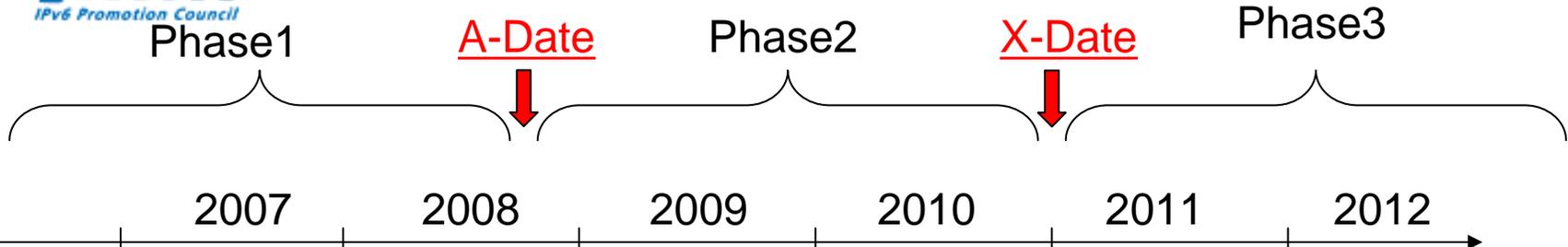
荒野 高志

(株)インテック・ネットコア

IPv4アドレス残存状況(IANA pool)

- 残り **50** x /8
 - 001-002, 005, 007, 023, 027, 031, 036-037, 039, 042, 049-050, 092-95, 100-115, 173-187, 197, 223
 - 参考:使えないもの
 - 000, 127, 240-255
- ここ数年の使用量 **10** x /8 /年
 - 2004 **9** x /8
 - 058-059(APNIC), 070-072(ARIN), 085-088(RIPE),
 - 2005 **13** x /8
 - 041(Afrinic), 073-076(ARIN), 089-091(RIPE), 124-126(APNIC), 189-190(LACNIC)
 - 2006 **10** x /8
 - 077-079(RIPE), 096-099(ARIN), 121-123(APNIC)
- あと遅くとも5年程度で枯渇??

段階的プロセス例



段階的な対応プロセスについてOPMなどで議論

- △ JPOPM
- △ APNIC
- △ APNIC
- △ APNIC
- △ △ △ △ ...
- △ 他地域レジストリ

告知期間 (レジストリがIPv6利用を推奨など)

国際的コンセンサス

関係組織の対応

- JPNIC
 - 段階的プロセスや停止日を明示することを骨子とする枯渇期ポリシーをAPNICに提案中。来週のAPNIC meetingで議論される予定。
 - グローバルなコンセンサスを目指す
- インターネット協会 IPv6デプロイメント委員会
 - ISPのIPv6化に関する課題を洗い出し
 - 第一次成果として課題マップといくつかの提言を行う。詳細は別紙参照
 - 第二次成果としてIPv6時代のアーキテクチャについて議論中
- IPv6協議会 移行WG
 - 今までISP, 企業など各セクター別の導入・移行方法論やノウハウを「IPv6移行ガイドライン」としてまとめている。